

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くまろーずスポーツ			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 4日 ~ 令和7年 11月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 10日 ~ 令和7年 12月 26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内でも体を十分に使って活動できるスペースが確保できている。	トランポリン・鉄棒・バスケットゴール・ジャングルジム等 室内でも運動ができる環境設定を行っている。	今後も安全且つ安心して活動に取り組めるよう必要に応じて柔軟に環境を整えていく。
2	ご利用される児童の様子や状況、体調面に配慮しながら日々の活動を柔軟に組み立てている。	児童の自己選択・自己決定ができるよう環境配慮を行い、職員間で情報共有・検討しながら支援へとつなげている。	児童一人一人の様子に応じた支援かどうかということを常に念頭に置き、状況に応じた支援の見直し、環境設定を行う。
3	個別支援計画の内容に沿った支援を行うことができている。	計画を作り終わりではなく、職員間で情報共有を行い、支援へとつなげています。児童の気持ちに寄り添いつつ、少しずつアプローチをし、必要に応じた環境設定を行っています。	今後もご本人からの要望や保護者の方との情報共有、連携を密に図りながらよりよい支援へとつなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への各マニュアルについての周知が確実には出来ていない。	各マニュアルを事業所玄関先にて保管をしているが、支援終了後はご自宅に送迎を行っている為、保護者への周知がしにくい。	今後は、お便りや連絡帳アプリを通じて保護者の方への周知を行っていく。
2	施設がバリアフリー化出来ていない。	玄関や各フロアとの境に段差がある。	すぐに改修の必要性はないが、対応が必要と考えられる場合には検討を行う。
3	地域交流やきょうだい支援等の機会を設けていない。	日常支援を優先する必要があり、地域交流活動に必要な職員配置や引率体制の確保が難しい現状がある。	地域交流については現状実現が難しい状況ではあるが、今後も姉妹事業所のくまろーず放課後等デイサービスとの交流を定期的に継続してしていく。